

九州タバコ産地におけるヤサイゾウムシの分布

津曲彦寿**・田村光章**

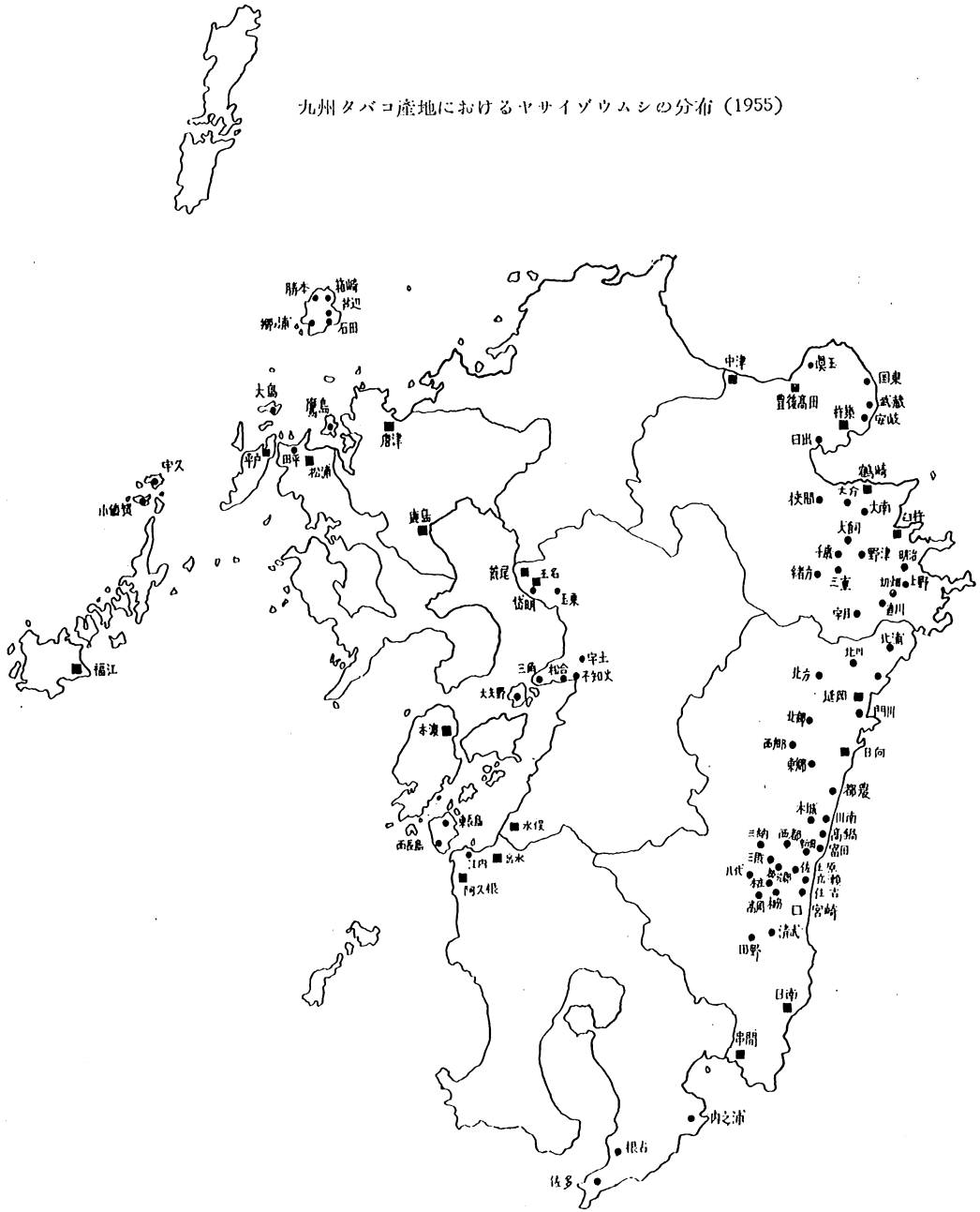
TSUMAGARI, H. & TAMURA, M. Distribution of Vegetable Weevil (*Listroderes costirostris* Schoenherr) in Tobacco-growing Districts of Kyushu

戦後九州に侵入をみたヤサイゾウムシは、その後次第に分布を拡大し、いまやタバコの重要な新害虫とな

* 大分縣農業試験場

** 日本専賣公社鹿兒島たばこ試験場

九州タバコ産地におけるヤサイゾウムシの分布 (1955)



註
 ■ 市 ● 町村
 (合併又は編入後の新稱による)



りつつある。ここに1955年度実施した分布についての調査結果を報告し、今後の防除対策の資料としたい。

調査方法 九州管内の専売公社各支所に発生調査及び標本採集を依頼するとともに、一部現地調査をもあわせておこなった。なお標本については、九州大学宇松京三博士に同定を頂いた。

調査結果 発生地域を示すと図のとおりである（この中で鹿島はいまだ確認していない）。

総括 (1) ヤサイゾウムシの九州における分布は、はじめ東海岸に限られていたが、その後西海岸側

や離島にも及んで、現在ではほとんど全タバコ産地に分布を拡大しようとしようとして）、タバコのうける被害も著しく増大しつつある。(2) 最初に侵入をみた東海岸地方は、現在被害がもつとも大きく、しかも海岸よりかなり奥にはいつた地域にまで分布するようになり、南は大隅半島の南端をまわつて鹿児島湾沿岸に到達した。(3) 西海岸地方における発生はいまだ局地的であるが、次第に分布が拡がりつつある。(4) 各離島の産地がいずれもいち早く侵入をうけたのは、分布拡大の径路を考察する上に興味深い。